

# 学校現場で活躍する先輩たち

小学校教諭  
奥津 芽衣 先生

子どもたちが「わかった」「できた」と喜ぶ瞬間に立ち会えることや、少しずつ成長していく姿を見届けられることが、教員という仕事の何よりの魅力だと思います。そして、6年間で心身ともに大きく成長する小学校では、子どもたちと一緒に様々なことに挑戦するため、日々、私たちがたくさんの方の学びを学べます。

また、子どもたちが輝ける場を作り出す校内授業研究では、指導案検討や教材準備、模擬授業など、大変なこともあります。その分やりがいも多くあります。授業後の研究協議は、成果や課題だけでなく、改善案も必ず話し合うので、経験豊富な先輩方からの具体的なアドバイスを受けることができる学びの場となっています。

授業だけでなく、子どもへの指導の悩みなども親身になって話を聞いてくださる先生方がいらっしゃるため、とても働きやすいです。

子どもたちと成長の喜びを共有することができ、自分自身も成長できる教員という仕事を、ぜひ一緒に、神奈川県でしてみませんか？

中学校教諭  
佐藤 多寿 先生

中学校教員の魅力の一つ、部活動。私は現在野球部の顧問を務める中で、生徒とともに成長しようと、ともに悩み、ともに汗を流しています。

大人になった今でも、「同じ目標に向かって、同じ時間を共有することができる」「負けた悔しさも、努力の成果も、成長の瞬間も、勝利の喜びも生徒と一緒に分ち合うことができる」これができるのは中学校教員しかないと私は思います。

野球部の顧問になって2年目の、最後の夏の大会では、秋・春に負けたチームにリベンジし、地区大会で優勝。県大会でも3位の成績を収め、関東近県大会に出場しました。保護者の温かい支援や声援、愛川町や先生方の支えもあり、準優勝という結果を残すことができました。仲間と助け合いながら高みをめざす姿勢、多くの方々支えがあって頑張れる自分があること、努力や準備がよい結果に結びつくことなど普通の授業だけでは伝えきることのできない大切なことを、部活動をとおして伝えることができます。授業だけでなく、部活動も含めて、中学生の人格形成に関わることができる中学校教員。この魅力ある仕事に私は誇りと責任を感じています。

高等学校教諭  
山頭 康太 先生

高等学校の教員は、生徒のキャリア実現に向けてとても大きな役割を果たします。生徒一人ひとりにはそれぞれの夢や目標があり、それらを身近で支え導く経験は、私にとって何よりの喜びであり、やりがいです。

私は大学を卒業してすぐに、教員として働き始めました。まだ右も左もわからず、不安の多い私でしたが、職場の同期や先輩方の支えと、充実した研修制度により、本当に多くのことを一から学ぶことができました。今では少しずつ自信が付き、毎日楽しく働いています。

進路や授業、クラス、学校行事、部活動など、学校生活のあらゆる場面で感動を得られることが、この仕事の魅力です。

教員は大変な仕事だと思います。ただ、目の前に頑張っている生徒たちがたくさんいるため、私も頑張らずにはられません。そして職場には、同じ志をもつ教員たちがたくさんいます。決して一人ではありません。教員は、チームで生徒の夢や目標を支え導いていく、そんな夢の溢れる仕事です。一緒に充実した教員生活を送りましょう。

特別支援学校教諭  
高橋 夏海 先生

「なんでそうしたのだろう？」特別支援学校の教員として児童生徒と関わっていると、そんなことを考える場面がとても多くあります。児童生徒の発想や考え方は多岐にわたり、私たちが思いもよらないこともあります。言葉や行動の理由について、一人ではなかなか答えが出せずに悩むこともありますが、そんなときは、ほかの教員に相談して色々な可能性を考えます。周りには、相談できる教員が多く心強いです。特別支援学校は、一人で指導をするのではなく、複数の教員で指導をするため、広い視野をもって指導の方法を考えることができます。また、専門性を要する自立活動教諭も校内に在籍しているため、常に助言や研修を受けることができ、これが、根拠のある適切な指導をすることにつながります。

特別支援教育のことや児童生徒のことを知れば知るほど楽しくなる仕事だと思います。これからも目の前の児童生徒と向き合い、もっと“なんで”がわかるようになりたいです。

養護教諭  
只野 明日香 先生

私は養護教諭として子どもを支えることにやりがいを感じています。保健室にはけがや体調不良で毎日たくさん来室があります。その中には、友だちや家族、勉強のことなど様々な悩みが原因で、元気がない症状になっているのではと感じるケースがあります。保健室で子どもが悩みを打ち明けたことから、校内の連携につなげ、子どもの状況が改善していった事例もありました。継続して対応するうちに、本人が前向きになっていく姿を見られたときはとても嬉しかったです。

しかし、来室の増えていく子どもに対して、保健室の対応はこれでよいのかと悩むこともありました。そこで意識したのは情報共有です。日頃の教室での姿や保健室での様子について、担任やその子どもに関わる先生方と情報共有を行い、ケース会議で対応方針の検討を行うこともありました。このように困ったり悩んだりするときには同僚の先生方に相談し、チームで対応することを心がけています。子どもたちの成長を支えるため、神奈川県で一緒に働きませんか？待っています！

採用後、先輩たちから学びたいことをメッセージします。



子どもたちが輝ける場を作り出す



箱根町立箱根の森小学校  
奥津 芽衣 先生

生徒とともに成長したい



愛川町立愛川東中学校  
佐藤 多寿 先生

学校生活のあらゆる場面で感動を得られる



神奈川県立岸根高等学校  
山頭 康太 先生

児童生徒のことを知れば知るほど楽しくなる



神奈川県立中原支援学校  
高橋 夏海 先生

チームで対応することを心がけている



藤沢市立羽鳥小学校  
只野 明日香 先生